

# スペインカルチャーのつどい 講演スリジュール



撮影・白鳥真太郎

2019年  
10月12日(土) 15:00～17:00

作家 逢坂 剛氏

## 「スペイン今昔」

スペインは、ピレネー山脈でヨーロッパと隔てられて、近代化が立ち遅れた。そのため、わたしが初めて訪西した1971年には、よくも悪くも古きよき時代のスペインが、まだ色濃く残っていた。その後スペインは、EU加盟などをきっかけに、面目を一新した。その間の変貌ぶりを10数回に及ぶ訪西の経験から、たどってみたい。



2019年  
11月9日(土) 15:00～17:00

法政大学名誉教授 川成 洋氏

## 「スペイン内戦とガルシア・ロルカ」

1936年7月スペイン全土で勃発した陸軍の軍事叛乱が頓挫し、内戦となった。その1か月後、世界的な詩人・劇作家ガルシア・ロルカは生まれ故郷グラナダで叛乱軍側に惨殺された。38歳の若さであった。ロルカがどうして殺されなければならなかったのか。何故か、今だに彼の遺骨は見つからないのだ。これもスペインの一面面である。毎年、ロルカの「三大悲劇」は上演されている。彼が劇に何を託したのだろうか。



2019年  
12月14日(土) 15:00～17:00 作家・東海大学名誉教授 太田尚樹氏

## 「スペインに渡った日本の侍」

今から400年前、伊達政宗から遣わされ、スペインとローマに渡った26人のサムライたちは、国王、法王相手に何をしたのか。帰途、スペインに残留した9人の侍たちの子孫がハボン姓を名乗り、今もスペインの川岸の町コリア・デル・リオにいるが、大半が我々と同じように、幼いとき蒙古斑がでるといふ、ミステリーのような実話である。今年のお盆にも現地では、盛大な灯籠流しが行われたというニュースが日本に流れた。彼らの残した歴史は、ヨーロッパの一面で、現代につづいている。

**各講座 会員 3,000円 一般 3,500円**  
**当日受付にてお支払い下さい**



2019年  
10月より新しく開講 岡田昌己 ダンスレッスン

毎週水曜日(19:30～21:00)：クラシコエスパニョール  
毎週金曜日(19:30～21:00)：フラメンコ  
1クラス：4,000円

テルトゥリアにご賛同いただける方は年会費1,000円をお願いします。  
毎月の講演内容をお知らせ致します。  
1月からはスペイン人講師によるワークショップも始まります。

申し込み

「スペインカルチャーのつどい」に参加を希望される方は①氏名 ②参加日 ③参加人数 を記入の上、Eメールまたはファックスにてお申し込み下さい。

事務局

Eメール ana.estudiomadrid@gmail.com  
FAX/TEL：03-3965-3696

岡田昌己連絡先  
FAX/TEL:03-3318-8218